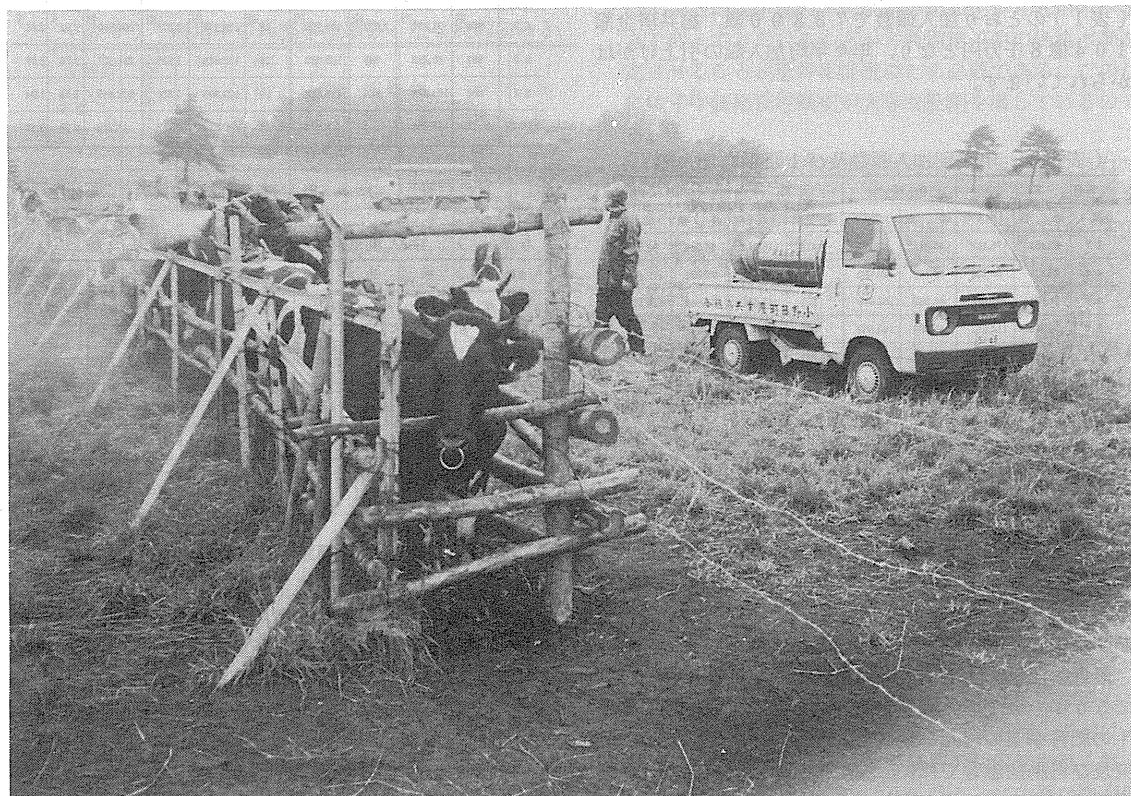


畜産みやぎ

題字
宮城県知事 山本 壮一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号
法人 宮城県畜産会
電話 (62-9180)

編集発行人 大石 武一
定価 1部50円
印刷所 KK東北プリント



葉山麓放牧場における外部寄生虫防除

もくじ

昭和51年度家畜共済事業の実績	2
畜産物の市況	8
肉用子牛の価格安定事業について	8
宮城県産黒毛和種子牛の市場性について	4
畜産団体紹介(14)	5
屋内(一般農家生産)および屋外(公社牧場生産)分娩、哺育子牛の放牧適性ならびに繁殖成績比較	5
酪農近代化計画について	6

昭和51年度家畜 共済事業の実績

宮城県農業共済連

1. 家畜共済の加入状況

昭和51年度は60年来ともいわれた大冷害に見舞われ、農業共済にとっては大きな試練の年であったがあらゆる障害を克服しながら関係者の懸命なご努力によって(表1)のとおり加入頭数で73,800頭、総共済金額104億8千万円となり、年々平均加入額の引上げがはかられています。

(表1) 年次別加入頭数及び1頭平均加入額

年度	乳牛		肉用牛		馬		計(平均)	
	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均
47	22,461	75,129 ^円	48,391	83,170 ^円	474	116,244 ^円	66,846	80,519 ^円
48	22,812	98,154	48,849	120,755	400	135,150	72,061	112,472
49	24,056	104,077	46,239	133,083	351	147,664	70,646	123,279
50	23,920	114,612	45,880	140,559	305	160,918	70,105	131,794
51	24,468	129,803	48,545	152,253	241	181,452	73,254	142,846
前年比	548	9,191	2,665	11,694	△64	20,534	3,149	11,052

2. 死産病傷事故の発生状況

家畜飼養の多頭省力化に伴ない、家畜の死産病傷事故は、多発の傾向にあります。家畜共済制度は、このような畜産農家が不慮の事故によって受ける損害を補償することと、損害の未然防止を図ることを目的としており、制度本来の使命が果されているものと思われます。

最近の死亡、廃用事故の発生状況は(表2)のとおりで50年、51年と減少の傾向にあります。乳用雄子牛の肥育事業の盛んな地域は依然として、気管支炎、肺炎及び胃腸疾患等で死亡、廃用になる傾向にあり、又死産事故の45%は死亡事故でその43%は、朝又は夕刻畜舎に行ったら死んでいたとのことで、治療を受けないまゝ死亡している等観察の不足が目立っている。

これらの事故に対処するため、各地区毎に関係機関の協力を得て設けた家畜事故対策協議会が中心となって、

実態に則したご指導を頂き、成果をあげておりますので、今年度も継続実施致しますから宜しくご協力願います。

病傷事故については(表3)のとおりで、49年度以降減少傾向にありましたが51年度はやゝ増加しています。

(表2) 年次別死亡廃用事故頭数及び支払共済金

年度	乳牛		肉用牛		馬		計		事故率	
	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	1頭平均	頭数	支払総額	頭数	金額
49	980	91,808 ^円	1,072	105,358 ^円	16	120,175 ^円	2,070	204,590 ^円	2.93%	2.85%
50	931	88,292	980	108,560	24	132,618	1,935	191,577	2.76	2.07
51	856	101,378	984	116,638	10	129,900	1,850	202,849	2.53	1.94
前年比	△75	13,086	4	8,078	△14	△2,718	△85	11,272	0.23	0.13

(表3) 年次別病傷事故件数及び支払共済金

年度	乳牛		肉用牛		馬		計		事故件数	加入数
	件数	1件平均	件数	1件平均	件数	1件平均	件数	支払総額		
49	24,739	3,863 ^円	11,335	3,075 ^円	321	3,947 ^円	36,395	131,816 ^円	61.5%	
50	23,003	5,601	12,259	4,547	282	5,479	35,149	189,532	51.6	
51	25,129	6,136	12,915	4,864	196	5,291	38,240	218,057	52.2	
前年比	1,821	535	656	317	△66	△148	2,001	28,525	0.6	

3. 死産事故の主な病類別発生状況

乳用牛の泌尿生殖器病による事故が30.6%を占めていますがそのうちで主なものは運動不足が原因と思われる産前・産後の起立不能症、子宮脱が多く、また畜舎の不衛生、搾乳器具の取扱い不良等により発生する乳房炎が多く、次いで骨折、脱臼等の運動器病も26%を占めている。(表4)

肉用牛の事故は急性鼓脹症、胃腸炎等の消化器病が全体の44.3%を占めているほか、肥育素牛で導入後日浅くして発病し死産事故となった肺炎、気管支炎等の呼吸器病が25.9%にもなっており、今後とも導入時の健康検査の徹底、導入素牛選定の指導が望まれる。(表5)

(家畜課・加藤)

いつもフレッシュ!!

明治牛乳

明治乳業

畜産機械器具展示会開催のご案内

- ★会期 10月7日～8日 2日間
- ★会場 遠田郡小牛田町 小牛田家畜市場
(宮城県ホルスタイン種牛・肉用種牛共進会と同時開催)
- ★展示機械 家畜ふん尿処理機械・草地管理用機械
畜産関係機械器具

(表4) 乳用牛の死産事故頭数(主な疾病のみ)

病名	骨折・脱臼	産前・産後	乳房炎	急性腹膜炎	子宮脱	心膜炎	その他	計
48	111頭	98頭	85頭	73頭	49頭	63頭	330頭	808頭
49	111	114	121	56	48	68	467	980
50	124	93	82	62	52	52	466	931
51	131	88	75	43	47	48	429	856

(表5) 肉用牛の死産事故頭数(主な疾病のみ)

病名	急性腹膜炎	肺炎	尿石症	骨折・脱臼	胃腸炎	中毒	その他	計
48	380頭	194頭	94頭	126頭	55頭	51頭	268頭	1,168頭
49	315	123	90	115	68	44	317	1,072
50	227	142	88	69	44	35	375	980
51	232	190	83	77	46	40	316	984

畜産物の市況

種目	規格	単価	価格	摘要
卵	A級	1 Kg	251.60	卸売価格7月平均
ブロイラー	A級	と体1Kg	311.80	〃
豚肉	上枝	肉1Kg	800	〃
	中	〃	755	〃
牛	和牛メス	上	2,000	〃
	和牛ヌキ	上	1,997	〃
	和牛ヌキ	中	1,570	〃
肉	乳牛メス	中	1,300	〃
	乳牛ヌキ	中	1,254	〃
和牛子牛		1頭	268,631	7月10日小牛田市場
子豚		〃	20,038	7月25日 〃

卵、ブロイラー、豚肉、牛肉価格…県経済連調べ(宮城県)

肉用子牛の価格 安定事業について

宮城県畜産課

牛肉生産を安定的に発展させるためには、その基礎的供給源である肉用牛繁殖経営の安定化が必須条件であり、更に現在の我が国の牛肉供給源が和牛から乳用牛へと大きく変わってきていることから乳用雄子牛の価格水準を安定させることが肥育化促進のため必要である。このためには子牛価格安定制度が大きな役割を果しているのである。

本県の子牛価格安定基金は昭和45年に設立されて以来、子牛価格の低落による生産者の損失補てん事業を行なってきているので、制度の仕組みについては、すでに承知されているが、部分的に改正した点もあるので改めて概要をお知らせする。

価格安定制度の仕組み

この制度は生産者が基金協会の会員である農協と4ヶ年間の業務対象年間ごとに生産者補給金交付契約を結んでおき、その農家が生産した子牛を家畜市場や農協を通じて販売した場合、その時の標準取引価格が保証基準価格を下回った場合に、その差の80%を補てんすることになっている。この場合の保証基準価格は、生産条件や、市場における実勢価格の動向等から、肉用子牛については各県ごとに定めているが、乳用雄子牛は全国一律に定められており、4ヶ年間の契約期間中は原則として変えないことになっているが、近年実勢価格が変動していることから概ね2年毎に引上げられている。一方標準取引価格は、肉用牛では県内4家畜市場(亶理、小牛田、佐沼、及び本年から黒川市場追加)における一定規格牛の4ヶ月ごとの取引価格の加重平均から算定しているが、乳用雄子牛では3ヶ月ごとに各県の取引価格や、国の指定する代表的家畜市場で取引された規格牛の加重平均から算定されており、保証価格と同じく全国一律の価格となっている。

以上により価格差補てんを受ける対象牛は、肉用子牛で

飼料

は  みのり

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー用配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号
TEL 石巻 02252(5)4171~4

動物用薬品器材のことなら 古い伝統
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼菰洗1
02202(2)2278~9

山形営業所 山形市小石川四丁目9~24

0236(23)9909・9900

古川営業所 古川市中里三丁目3~32

02292(3)6266・6267

は、生後4~12カ月令で、体重はめすで120kg以上、おすで130kg以上となっており、乳用雄子牛では体重に関係なく4~12カ月令としている。

補てん財源の造成については、保証基準価格を基礎に1頭当りの積立金額を算定し、国が1/2、県1/4、生産者1/4の割合で契約時に積立している。

この制度には現在肉用牛が7,100頭で繁殖めす牛の約40%が加入しているが、乳用雄子牛は、2,800頭と県内生産乳用雄子牛の23%程度の加入にとどまっている。本年度においては、更に加入頭数を増やして基金制度を強化するため、肉用牛3,000頭の新規契約を予定しているの、子牛生産経営の拡大に安心して取り組むことができるように生産者の方々が積極的に加入されることをお進めしたい。

なおいままでの保証基準価格、契約頭数及び補てん状況は別表のとおりである。

(肉畜係・星)

別表 子牛価格安定事業の推移

区分 年度	保証基準価格		契約頭数		補てん実績	
	肉用子牛	乳用雄子牛	肉用子牛	乳用雄子牛	肉用子牛	乳用雄子牛
	45	70,000	-	5,700	-	-
46	"	-	"	-	-	-
47	90,000	54,284	"	1,984	-	-
48	"	"	"	2,544	-	-
49	180,000	79,000	5,900	2,650	2,166頭 56,110円	676頭 3,233円
50	"	"	"	3,720	1,452頭 10,351円	-
51	206,000	85,000	7,100	2,800	-	-
52	"	"	10,100 (計画)	2,800	-	-

宮城県産黒毛和種子牛の市場性について(2)

宮城県畜産農協連

(イ) 体重と販売価格

体重別の平均販売価格は第5表のとおりである。

これによると牝、牡とも販売価格は例外を除き体重の増加に並行して上昇する傾向を示している。

第5表 体重別の平均販売価格

体 重	7 月 市 場		11 月 市 場	
	牝	牡	牝	牡
210~220kg	241.6百円	- 百円	201.4百円	- 百円
221~230	241.5	239.9	226.1	236.2
231~240	251.3	251.9	221.4	-
241~250	237.3	257.2	-	242.5
251~260	255.3	265.2	197.5	274.3
261~270		251.2	-	-
271~280			-	-

(ロ) 1日当り平均増体量

種雄牛別産子の1日当り平均増体量は第6表のとおり

である。7月上場調査子牛の平均は牝797g、牡897gであり11月調査子牛の平均は牝806g、牡918gと発育においてはいずれも牡子牛の方が優れていた。

さらに、種雄牛別にみると調査頭数は少ないが「第11日和錦」の産子が最も大きく牝942g、牡1,042gが最高で平均増体重を上廻っている産子の種雄牛は「日和錦」「茂重波」「富光」「洋」などである。

第6表

種雄牛別産子の1日当り平均増体量

(上段7月下旬11月)g

種雄牛 性	茂重波	富光	世盛	第11日和錦	勘雪	第4竹安の2	正福
	牝	833	789	781	942	762	830
牡	811	816	739	-	777	845	747
社	927	907	875	976	811	930	819
	938	931	861	-	843	906	807

種雄牛 性	宗盛	天辰谷の7	洋	富丸	日和錦	平均
	牝	784	786	-	-	-
牡	-	-	875	981	928	806
社	804	892	-	-	-	897
	-	-	969	1,042	1,030	918

10月から

圧ぺん穀類(フレーク)入新体系

くみあい乳牛・肉牛用配合飼料新誕生

新製品 肉牛育成用・肉牛肥育用・圧ぺん肉牛用
乳牛13号・15号・17号



宮城県経済連
宮城県くみあい飼料株式会社
東北くみあい飼料株式会社

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事

さく井工事

ポンプ工事

水処理工事

畜舎工事

設計・施工

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話(0222)932461

3 考察

- (イ) 日令別の平均体重は牝子牛、牡子牛とも1部例外はみられるものゝ体重は日令に並行して増加の傾向がうかがわれる。
 - (ロ) 月令別の平均販売価格は牝子牛、牡子牛とも日令に対する価格は著しい変動はないが、必ずしも日令に並行して価格は上昇していないことを示している。したがって子牛の販売にあたっては、いたずらに出荷日令を延ばして販売することが必ずしも有利でないことがうかがえる。
 - (ハ) 体重と販売価格は例外を除き牝子牛、牡子牛とも体重の増加に並行して上昇する傾向にある。
 - (ニ) 1日当り平均増体量は発育において、いずれも牡子牛の方が優れている。
 - (ホ) 平均販売価格とkg当り平均単価は牡子牛の方が牝子牛より高かった。なお上場日令は牝、牡とも差は認められなかった。(完)
- (業務課・鈴木孝喜)

<畜産試験場だより>

屋内(一般農家生産)および屋外(公社牧場生産)分娩哺育小牛の放牧適性ならびに繁殖成績比較

渡辺 弘

1. この試験のねらい

最近、公共営放牧場等に対する肉用子牛の預託放牧が実施されているが、一般に放牧育成期間の発育が低調で、この傾向は、特に地域外からの預託牛または導入牛に顕著に認められる。この原因は色々あるが、その原因の一つに哺育期の飼育管理、環境が大きく影響している。

即ち、放牧前の予備放牧が是非必要とされている。ここに紹介する試験成績は、分娩後の哺育育成の飼育環境のちがいが、その後の放牧適性ならびに繁殖成績にどのような影響をおよぼすかを知る目的で実施したものである。

2. 試験のやり方

生後7~8カ月令の黒毛和種雌子牛で、屋内分娩哺育区(以後屋内区という)6頭、屋外分娩哺育区(以後屋外区という)6頭、合計12頭を用いて、放牧適性および繁殖成績について比較検討した。

3. 試験成績の要約

(1) 各期の増体量

各期別の増体量は表1のとおりである。

1) 放牧育成期の増体量

屋内区の増体量は屋外区に比較し68%にとどまった。これは、一般農家で育成された子牛は、哺育育成期に放牧に適応させるための順致育成がなされないことが原因と考えられた。

2) 放牧後受胎までの増体量

屋内区の増体量は屋外区に比較して77%とかなり低かったが受胎した。しかし、受胎に要した日数では、屋外区が屋内区に比較して90日多く要している。これは、屋外区が受胎するまでに十分な発育を示さず、発育と受胎

畜産団体紹介 (14)

団体名 全国和牛登録協会宮城県支部
 代表者 支部長 佐藤 利吉
 所在地 〒980 仙台市上杉一丁目16-3
 宮城県畜産連内
 電話番号 (代) (21) 6277
 設立 昭和24年7月1日
 会員数 5,600名
 事業 1. 黒毛和種の登録
 2. 集団育種事業に関する指導
 3. 和牛登録及び集団育種事業に関する研究会並に講習会の開催
 4. 関係資料の配布
 5. その他和牛の登録及び改良に関する必要なる事業

酪農協の牛乳!

全酪牛乳

全国酪農協同組合連合会(全酪連)
小牛田工場 遠田郡小牛田町牛飼38
TEL 02293-2-221



- 臭気的大幅減少 2-3日
- 飼料効率の向上 4-5日
- 抗病性の増強 2-3週後



代理店

宮城県登米郡迫町佐沼字上舟丁23番地

株式会社 東和薬品

電話 迫02202 ②3727番

との関係が大きいことがみとめられた。

3) 受胎から分娩時までの増体量

屋内区増体量は屋外区に比較し、128%とかなりよい増体を示した。これは、屋内区の放牧効果がでたためとみとめられた。

表1 各期増体成績の比較 (各区1頭平均)

区分	放牧育成期			放牧後受胎まで			受胎から分娩まで		
	日数	期間増体量	1日平均増体量	日数	期間増体量	1日平均増体量	日数	期間増体量	1日平均増体量
屋内区	185	81.4	0.17 (68)	141.6	56.4	0.38 (77)	283.6	150.7	0.53 (126)
屋外区	185	46.4	0.25 (100)	284.8	114.4	0.49 (100)	285.7	118.9	0.42 (100)

()内の数字は屋外区を100とした場合の指数である。

(2) 母牛体重の推移

放牧開始時から、放牧終了時、受胎時、分娩時を比較すると表2のとおり、屋外区は屋内区に比較して、74%、86%、111%、101%と推移した。これは、育成中の体重が、繁殖に大きいことがみとめられた。

表2 母牛の体重の推移比較 (各区1頭平均)

区分	開始時	放牧終了時	受胎時	分娩時
屋内区	172.8 (100)	204.2 (100)	260.6 (100)	403.5 (100)
屋外区	128.6 (74.0)	175.0 (86.0)	289.6 (111.0)	408.5 (101.0)

()内の数字は屋内区を100とした場合の指数である。

(3) 繁殖成績

繁殖成績については表3に示したが、種付回数、妊娠期間、母牛体重、子牛体重の両区は差はなく、母牛の体重に対する子牛体重の割合についても差は認められなかった。

表3 繁殖成績比較 (各区1頭平均)

区分	種付回数	妊娠期間	③母牛体重	④子牛体重	④/③
屋内区	4.4回	283.0日	403.5kg	22.5kg	5.57%
屋外区	2.5	285.0	408.5	22.3	5.45

(4) むすび

以上の結果から、今後肉用牛子牛を放牧する場合には、哺育育成期の飼養管理の影響が大きいので、予備放牧は充分に実施すること。また繁殖については、子牛の発育が充分になってから(放牧したものは250kg以上)になってから種付することが必要である。

(主任研究員兼家畜第1部肉牛科長)

酪農近代化 計画について

宮城県畜産課

はじめに

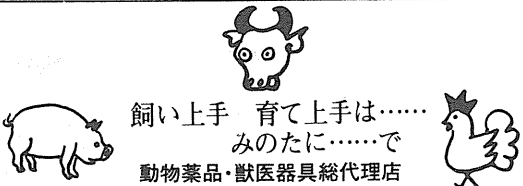
本県における農業は、かつての経済の高度成長時代から安定成長時代へと国の経済基調が変化の中で食糧消費動向の変化、畜産公害の発生、農産物価格の低迷、他産業との所得格差の増大等、きびしい状況下におかれている。

農家戸数においては減少傾向を示し、特に昭和45年の減少率は3.9%と著しく、その中でも東部沿岸地域及び都市近郊の減少が目立っている。

一方本県の農業はわが国の食糧基地として、国民の食生活の高度化、多様化する需要増加に対処して畜産生産基盤の整備強化がさらに強く要請されている。又畜産経営の定着安定化を図るためには畜産物価格安定基金協会を強化して価格安定に資するとともに、規格取引の普及推進と関連流通施設の整備により、畜産物流通の円滑化を図ることが肝要である。

酪農部門においては、生乳および乳製品の需要は多様化、高級化の方向をたどっている。一方昭和50年の生乳生産量は108千トンと過去10年間に38%増加し、今後もその増加が見込まれている。

これらの需要増加に対処するため、酪農経営については、高度な技術と資本装備を有した高い生産力のもとに



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医師器具総代理店
株式会社 美濃谷

こくておいしい大型びん……

森永 ハイクラウン牛乳

宮酪乳業株式会社

本店	山形市蔵王成沢字町浦491~2	TEL883121
仙台店	仙台市山田字羽黒堂5番216	TEL454306
鶴岡店	鶴岡市大字布目字東通り57~1	TEL240963
いわき店	いわき市常磐湯本栄田3	TEL0246440300

昭和60年を目標とした酪農近代化計画を樹立し酪農を農業の基幹部門として育成し、生乳生産から消費者にいたる一連の近代化を次の事項を基本的目標として推進するものである。

1 酪農適地を中心に地区ごとの生乳生産量の目標を定め、生乳生産の安定的供給を図る。

2 自立酪農家の育成助長を図りその生産性および収益性の向上を期するため、地区ごとに酪農経営の経営指標を示し、専業酪農経営にあっては概ね400万円以上に達するよう経営の改善を推進する。

3 生乳生産量の増加、供給量の増大に対処して、集送乳機構の整備、生乳品質の改善、乳業処理加工の近代化、販売の合理化等に努め飲用向けの県外出荷を促進して生乳の飲用化率の向上を期する。

4 酪農経営の安定化を図るため、飼料自給度の向上、酪農飼料価格安定制度の強化、市乳化の促進、優良乳用牛の資源確保、及び後継者の健全な育成等を推進する。

5 牛乳生産数量の目標(資料1参照)

6 近代的な酪農経営方式の指標(資料2参照)

7 乳牛の飼養規模の拡大に関する事項(資料3参照)

(ア) 地域別乳牛飼養構造

(イ) 経営規模別乳牛飼養構造

8 飼料の自給度の向上に関する事項(資料4参照)

9 集乳及び乳業の合理化に関する事項

(ア) 集送乳の合理化

県内集乳施設18ヶ所を14ヶ所に統合整備し、施設の有効的活用を図るとともに、指定生乳生産者団体现有のタンクローリー62台を統一的に路線等の調整を推進し、集送乳の合理化と経費の低減を図るものとする。

(イ) 集送乳体制の整備

一元集荷、多元販売を確立し生乳取引の近代化を推進するため、指定生乳生産者団体を中核とする生産団体の組織体制を強めるとともに、生乳の飲用化率を高め酪農経営の安定を図るため、現有長距離ミルクタンクローリー8台を有効に活用し広域的需給調整体制の整備を推進する。(集乳の合理化のための措置……資料5参照)

(ウ) 乳業の合理化

① 乳業経営の改善

本県における乳業施設は27工場であるが、このうち

中規模以上の施設は11工場で飲用牛乳処理数量の97%を占めているが、小規模施設については大部分が家内工業的で生産性、操業度も低く、今後の資本装備、施設の近代化、コスト低減、消費拡大の流通合理化が緊急の課題となっている。

これ等乳業経営改善に当っては増高する設備投資に備え現行の低利長期融資の利用促進と飲用牛乳消費拡大の換起に努めながら生乳供給から消費改善、近代化の一貫として処理対策を推進するものとする。

② 乳業施設の整備

乳製品工場については、現況施設を保持し生乳の地域調整を図るものとし、飲用牛乳の処理工場については県内の需要動向流通改善の方向を充分勘案して、これを計画的に進めるものとする。特に、中小処理施設については、施設の近代化、規模拡大を進めて今後の需要に対処するものとする。

10) その他酪農近代化を図るため必要な事項

(ア) 指導組織の整備

酪農に関する指導機関としては、農林事務所、家畜保健衛生所等の県出先機関を初め、県生乳検査協会、生販連、経済連等生産者指導団体の支部等があり各機関が各々の立場で酪農技術等の普及浸透に当たって来たが、今後の酪農近代化の推進に当っては、これ等指導体制も高度な専門的経営技術を有する指導者とその体制整備が強く要請されることである。

従って、県指導機関と酪農指導団体の統一的技術体系を確立し、特に指定生乳生産者団体構成員の系列的集乳地盤の解消を図り、基幹集乳施設の再編整備計画に添いながら指導の統一を進め技術員の確保に努めるとともに関係機関との連携を緊密にして酪農家が必要とする経営技術に対処するものとする。

この場合、地区別に示す酪農経営指標を基本として近代的酪農経営方式の重点的指導事項を設定し一貫性のある濃密指導を実施するものとする。

(イ) 乳牛能力の向上

産肉量の向上を配慮しながら乳用牛の改良に関する次の諸施策を図る。

① 乳量の増加と乳質の改善

② 飼料の利用性、連産性に富み発育が良く、強健

牧場用柵には
強く美しくスマートな
東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼株式会社営業所
仙台市一番町二丁目7-5 TEL 0277053
販売元 塚本商事機械株式会社
仙台市花京院二丁目1 TEL 627771
代理店 本山振興株式会社
仙台市昭和町6番10号 TEL 6406221

システム農業をつくる……/

STAR

●豊富な
アタッチメント



STAR-農機株式会社

仙台出張所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内
0222-58-7301

で環境適応性の高いもの

- ③ 体型の斉一化
- ④ 体積の増大と泌乳能力の向上及び産肉量の増加
- ⑤ 遺伝的能力の向上と飼養管理の改善に努め、その能力と体型に関する成熟時の目標数値を次のとおりとする。(資料6参照)

(ウ) 家畜保健衛生施設の整備

家畜の多頭化、集団化の進展により防疫衛生面でも新しい観点に立った集団のかつ広域的衛生対策が要請されるに伴い、施設の整備、機動力の充実等により機能の高率化、技術の専門化を推進し、これを中心に各関係機関団体等が有機的かつ機動的に業務を展開し、自衛防疫組織の整備強化と併せて家畜衛生体制の確立を図る。

(エ) 道路の整備

主要幹線道路を中心に急速に道路整備が推進され、特に東北縦貫道路の開通及び今後の新幹線の開通に伴い、本県酪農は遠からず京浜地区の完全な市乳圏域として位置づけられるとともに、集送乳路線の整備と輸送時間の短縮が酪農全般に亘る近代化推進の原動力となって展開されるよう対策を進める。

11 その他

水田の総合利用対策の推進

農業振興地域整備の促進

県長期総合計画との調和

以上酪農近代化計画の概要について記述したがこれが計画目標の達成については関係者ならびに関係団体等の協力を得て推進したいと考えるので特段の配慮をお願いするものである。(酪農係、日下)

資料1. 牛乳生産数量の目標

区域名	現 在 (50年2月)					目 標 (60年2月)				
	総頭数	成牛頭数	経産牛頭数	経産牛1頭当り年間産乳量	生乳生産量	総頭数	成牛頭数	経産牛頭数	経産牛1頭当り年間産乳量	生乳生産量
南地域(9)	10,050	7,470	6,830	4,620	31,558	13,250	9,330	8,400	4,700	39,400
中地域(16)	5,170	3,810	3,350	4,620	15,488	5,750	4,150	3,740	4,700	17,600
北地域(31)	16,980	11,560	9,740	4,620	44,966	20,380	14,230	12,810	4,700	60,200
東地域(18)	6,230	3,720	3,480	4,620	16,095	5,220	3,490	3,150	4,700	14,800
計	38,430	26,560	23,400	4,620	108,107	44,600	31,200	28,100	4,700	132,000

(注) 生乳生産量については、当該年間(1月~12月)までとする。

(昭和50年2月1日 農林統計調査)

資料2. 近代的な酪農経営方式の指標

方式名	1 飼養頭数規 模 (経産牛頭数)	2 酪農部門投 下労働1時 間当り生乳 生産量	3 経産牛1頭 当り飼養管 理労働時間	4 飼料作 10アール当 り労働時間	5 飼料作 10アール当 り養分生産 量 (TDN換算)	6 飼料自給率 (TDN換算)	備 考
複合水田酪農	10	24.4	171.2	8.5	1,050.4	64.7	南部 中部 北部
畑地専門酪農	20	22.9	146.0	25.0	1,094.0	65.0	
草地専門酪農	30	31.7	108.8	9.1	781.3	72.4	
複合水田酪農	10	24.4	171.2	8.5	1,050.4	64.7	東部
畑地専門酪農	20	22.9	146.0	25.0	1,094.0	65.0	

三 鷄糞 無臭乾燥機 SD-100
SD-400
SD-700

三 菱 麥牛糞

三菱機器販売(株) 仙台支社

〒 仙台市扇町五丁目1-3 102
LET (0222) 94-3281 (代)

無臭乾燥機の原理
SD 100K 型 } の場合
SD 700 型 }

新鮮空気
原料投入
サイクロン集塵器
悪臭ガス
再燃焼炉
製品出口
パーナ
新鮮空気

資料3. 乳牛の飼養規模の拡大に関する事項
ア 地域別乳牛飼養構造

Table with 15 columns: 区域名, 総農家戸数(A), 飼養農家戸数(B), 経産牛頭数(C), 未経産牛頭数(D), 普及率(B/A)%, 経産牛率(C/D)%, 1戸当り飼養頭数(D/B)頭, 飼養農家戸数(B), 経産牛頭数(C), 未経産牛頭数(D), 計頭数(D), 経産牛率(C/D)%, 1戸当り飼養頭数(D/B)頭. Rows include 南地, 中地, 北地, 東地, and 計.

(昭和50年2月1日現在 農林統計調査)

イ 経営規模別乳牛飼養構造

Table with 12 columns: 年次, 飼養農家戸数(A), 子牛のみ飼養戸数, 成牛飼養頭数 (1~4, 5~9, 10~14, 15~19, 20~29, 30~39, 40~49, 50頭以上, 計), 飼養頭数(B), 1戸当り飼養頭数(B/A). Rows include 現在(50年2月) and 目標(60年2月).

(昭和50年2月1日現在 農林統計調査)

資料4 飼料の自給度の向上に関する事項
ア 飼料生産計画

Table with 12 columns: 区域名, 項目, 飼料生産面積及び生産量 (飼料畑, 個人利用, 公共利用, 計), 乳牛年間1頭当り (収量 TDN), 備考, 飼料作物作付面積 (飼料畑, 個人利用, 公共利用, 計), 野草地, 年間1頭当り (収量 TDN), 備考. Rows include 南部, 中部, 北部, 東部, and 計.

画期的な家畜ふん尿処理用
めづまりのない

多板式固液分離機

- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力



株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 0222-95-5517

イ 草地改良計画

区域名	現在(50年度) 当初現有草地面積			地域内草地 改良可能 面積	現在(50年度)から目標年度 当初までの事業実施面積		
	補助事業	その他	計		補助事業	その他	計
南部農業 地域	2,106.71 ^{ha}	— ^{ha}	2,106.71 ^{ha}	5,439 ^{ha}	2,880 ^{ha}	— ^{ha}	2,800 ^{ha}
中部農業 地域	1,215.28	—	1,215.28	3,070	1,620	—	1,620
北部農業 地域	4,489.74	—	4,489.74	7,365	4,050	—	4,050
東部農業 地域	977.45	—	977.45	892	450	—	450
計	8,789.18	—	8,789.18	16,766	9,000	—	9,000

資料5. 集乳の合理化のための措置

地域名	現在(50年度)						目標													
	集乳所		クーラステーション		ミルクタンクローリー		集乳所					クーラステーション				ミルクタンクローリー				
	集乳所数	1集乳所当り乳量	クーラステーション数	1クーラステーション当り乳量	ミルクタンクローリー数	1ミルクタンクローリー当り乳量	新設	拡張	現況のままの数	縮小	総数	1集乳所当り乳量	新設	拡張	現況のままの数	縮小	総数	1集乳所当り乳量	ミルクタンクローリー数	1ミルクタンクローリー当り乳量
南部農業地域	6	kg/日 5.20	5	kg/日 15,150	15	kg/日 4,500	—	—	6	—	6	kg/日 620	—	—	3	—	3	kg/日 30,000	15	kg/日 6,000
中部	9 (5)	1,430	0	—	13 (3)	3,500	—	—	9 (5)	—	9 (5)	1,700	—	—	—	—	—	—	13 (3)	4,600
北部	30 (24)	700	9	11,850	32 (4)	3,600	—	—	30 (24)	—	30 (24)	840	—	—	8	—	8	16,000	32 (4)	5,000
東部	3 (2)	900	4	6,880	10 (1)	3,700	—	—	3 (2)	—	3 (2)	1,080	—	—	3	—	3	10,000	10 (1)	5,000
計	48 (31)	827	18	11,550	70 (8)	4,300	—	—	48 (31)	—	48 (31)	990	—	—	14	—	14	18,000	70 (8)	5,200

資料6 乳牛の能力と体型目標

区分	能力(305日2回搾乳)			分娩間隔	体型	
	乳量	乳脂率	無脂固形分		体高	体重
現在	5,500 ^{kg}	3.49 [%]	8.2 [%]	13.5 ^{ヶ月}	133 ^{cm}	570 ^{kg}
目標 (60年)	5,600 ^{kg}	3.50 [%]	8.5 [%]	13.0 ^{ヶ月}	136 ^{cm}	600 ^{kg}